

SYUREI

2025年
令和7年
守礼

夏号



一般社団法人沖縄県代協 創立50周年感謝の集いのご案内



記事内容

- ・通常総会
- ・琉球大学での学生向け講義について
- ・創立 50 周年感謝の集いのご案内 について
- ・琉球大学での学生向け講義について
- ・沖縄県代協 50 周年記念式典 実行委員会キックオフ開催
- ・防災講演
- ・代理店評価制度に対してどう対応してゆくか？
- ・九州南ブロック会議 ... etc



通常総会



令和7年度 一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会 通常総会

2025年5月30日、沖縄青年会館大ホールにて「令和7年度 一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会 通常総会」を執り行いました。総会では24名の出席と72通の委任状のもと第1号議案から第4号議案までの審議決議を行い大城拓会長の2期目事業スタートを切ることができました。

また、懇親会では来賓のご挨拶大同火災海上保険(株) 取締役常務執行役員 山里武司様・乾杯のご発声を損害保険ジャパン(株) 支店長 村山高幸様に頂き会を盛り上げて頂きました。

日本代協から小俣藤夫副会長をお招きし、総会から参加いただき沖縄県の代協活動にさらなるエールをもらう事が出来ました。

今年度も会員皆様へ活きた情報を提供できるよう役員理事一同より一層団結をしイベントの企画セミナー等に工夫を凝らし組織の活性化に努めて行きたいと改めて感じました。

組織会員交流委員長 與那嶺由貴子



琉球大学での学生向け講義について



令和7年6月3日(火)、7月15日(火)両日琉球大学共通教育において学生向けに講義を行ってきました。「損保概論」の中で損害保険代理店及び募集人の実務について解説をしており、これから社会にでる学生に業界の仕組みの紹介やリスクリテラシー教育の機会としてカリキュラムの一部を弊会で担当している講義です。講義の中では募集人の役割や募集・経営にまつわる法律、業界の使命感を学生に伝えており、損害保険業界を志す学生が増えて欲しいという想いも込めて行っています。募集にまつわる法律やルールを解説することは講義を行う立場にとっても有意義な時間になっており、また大学で登壇することもモチベーション向上に繋がっています。大学講義は日本代協認定講師の資格取得で担当することができます、会員限定の資格です、ご希望者は事務局まで問い合わせ下さい。





創立50周年感謝の集いのご案内



昭和50年9月に設立され昭和55年に日本代協に正式加盟した沖縄県代協、今年で創立50周年を迎えることとなりました。これもひとえに皆様のご協力ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。つきましては感謝の集いを開催しますのでご多用中のことと存じますが是非ご来場下さい。詳細につきましては後日改めてご案内いたします。

日時 令和8年3月6日（金）

場所 マリエールオークパイン



これまで
これからも
感謝を込めて



沖縄県代協50周年記念式典 実行委員会キックオフ開催

7月26日（土）「沖縄県代協50周年記念式典」のキックオフが行われました！

大城会長からは、50周年への熱い想いや式典成功への情熱がたっぷり語られ、会場はとても盛り上りました。久々に会った会員同士の情報交換も活発で、「このメンバーで絶対成功させたい！」と感じられるとても有意義な集まりとなりました。

これからこのメンバーで式典の準備を進めていきますが、「ちょっと手伝ってみようかな？」という方も大歓迎です！

一緒に盛り上げてくださる会員の皆さん、ぜひご連絡ください。

みんなで力を合わせて
最高の50周年をつくりましょう！





豊見城市民のための防災講演について

令和7年4月25日(金)豊見城市役所多目的室で開催された「第12回豊見城市民のための防災講座」にて講演を行いました。PTA関係者、学童職員、市議会議員、他市町村の職員等約70名の皆様に参加いただき、ぼうさい探検隊マップの意義や制作方法の紹介、防災リテラシー教育の重要性を説明しました。マップ作りは地域防災能力の向上に繋がることは当然ながら、児童の行政への興味関心、自己肯定感の醸成にも効果的です。参加した方からは「すぐに取り組みたい」「教育指導要綱との親和性も高い」等前向きな感想も多くいただきました。当日はマップコンクール表彰常連の豊崎児童クラブ、ないろ児童クラブの作品紹介や制作過程の説明もあり有意義な時間になりました。マップ作りは安心安全な地域創りに損保業界が直接的に貢献できるプログラムです。今後も周知・普及を図るべく尽力してまいります。



第22回 小学生のぼうさい探検隊マップコンクール 作品募集中!

テーマは
地域を...
防災
防犯
交通安全

地域を探検して 安全マップを作つてみませんか?

「第3次学校安全の推進に関する計画」では、「安全教育を効果的に実施するためには、体験活動を通じた学びやデジタル技術を活用した学びが有効」とされています。

①まずは事前エントリーをしよう!
「参加申込書」に必要事項を記入して事務局に送付いただくか、ウェブ参加申込フォームからお申込みください。

②まち探検をしよう!
子どもたちが視点ごとに地域を探検して、防災・防犯・交通安全に関する様々な施設や設備、危険なところを発見しましょう。

③みんなでマップを作り、発表して応募しよう!
探検して気づいたこと、考えたことをマップにまとめましょう。マップが完成したら、発見したことや気づきを発表しましょう。

特に優れた作品には
「文部科学大臣賞」
「防災担当大臣賞」
「消防庁長官賞」
などを贈呈

紙マップもデジタルマップもOK!

事前エントリーいただいた方には

- ①希望者は、まち探検に役立つ「実施キット」を無料で提供
- ②デジタルマップを作成する場合は「専用タブレット」を無料で貸出
- ③はじめてのまち探検でも安心!ノーハウをコンパクトにまとめた「実施マニュアル」を無料で提供
- ④参加された児童全員に「参加賞」を贈呈

応募資格
2024年11月2日以降に、小学生が複数(1人以上)で作成したマップであること
入選対象となるマップは小学生が主体で作成したものに限ります。

申込・マップ提出 → 2025年11月4日(火)必着

お問い合わせ
「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」事務局 ぼうさい探検隊 検索
TEL 03-6625-7424(平日 10:00~18:00) E-mail info@edpmap-entry.jp
ホームページ www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai_sp/

● 応募テーマ
防災・防犯・交通安全など、地域の安全・安心に関するテーマを幅広く受け付けます。

● 応募までの流れ

- ① まずは事前エントリー
- ② まち探検を行ってマップを作成
- ③ 事務局から送付する「作品紹介用紙」と併せてマップを応募
【応募方法】マップ画像は、提出フォームまたはメールで提出してください。
詳細は、お申込み後に事務局からご案内します。

● 審査基準
応募いただいたマップは、「提案性」「教育効果性」「地域性・テーマ性」に加え、紙マップは「ビジュアル性」、デジタルマップについては「専門家ならではの視点の評価」などを加味して審査します。

● 審査結果
2025年12月に日本損害保険協会のホームページなどで発表予定
※入賞以外の作品について、審査の特別評価を一律に発表することはございません。

応募されたマップは「想いのこもった大切な作品」として扱いますので、応募の際には「代表応募マップ」は選ばず、全てのマップをご送付ください。

※交通安全部門および事故・けが防止の観点から教員・保護者によるオンラインの評議など必ず人の判断によるようになります。一方の意見や力方に偏らず、客觀的に判断しておきましょう。

第22回 小学生のぼうさい探検隊マップコンクール参加申込書

■本コンクールの応募について	<input type="checkbox"/> 初めて
(※2年生)	<input type="checkbox"/> 応募したことがある
■団体名	※個人参加は学校名、企業名以外を記入ください。【例】○○探検隊【例】○○キッズ
(※2年生)	市・都・府・県 市・都・区
■担当者の住所 (マンション等の別荘)	〒 -
(※2年生)	種
■担当者のお名前	申込後、事務局から評議会場のご連絡を差し上げますので、電話番号とメールアドレスは必ず記入ください。また、提出物はご連絡がついでからの手配です。
■担当者の連絡先 日中、連絡がとれる番号	- - - FAX番号 - - -
E-mail	※キャリアメール以外を複数
■実施予定期 (既に実施済みの場合は実施日)	※以下に複数の実施日を記入してください。 年 月 日
■参加年齢 応募マップ数 (予定でも可)	■参加年齢・人数 (マップ作成) 年生 人
■タブレット	<input type="checkbox"/> タブレット
■現物(模造紙での作成)	<input type="checkbox"/> 現物(模造紙での作成)
■実施マップの提出について	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
■マップ提出	マップの画像データ(JPEG形式)を提出するフォームまたはメールで提出してください。 入賞時に現物を送付いただくことは可能ですか? <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 (どちらかに☑を入れてください) データ提出が難しい場合は、事前にご相談ください。
■表彰のきっかけ (選出数回答)	□マップコンクール事務局からの紹介で具体的な内容で □教育委員会、自治体等からのご案内で □ネット投票(ホームページ)で具体的な内容で □校報・他機関からの紹介で (紹介者(部会名))
■論考	□表彰会社からの紹介で具体的な内容で ✓領事館代店・領事代理業協会からの紹介で (具体的な:沖縄県の会員名:) □リピート参加 (紹介者(部会名):) □その他(具体的な:)

「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」事務局
TEL :03-6625-7424(平日10:00~18:00)
FAX :03-3572-6268
E-mail :info@edpmap-entry.jp

主 催：日本損害保険協会／朝日新聞社／日本防災教育ボランティアネットワーク
後援：内閣官房／内閣官房総括監修官／防衛省／米軍／UNESCO／日本レスキュー国際委員会／日本ユネスコ協会連盟／全国都道府県教育委員会連合会／沖縄県教育委員会／沖縄県防災センター／防災減災促進事業団／ボイスカット日本連盟／ガルスカット日本連盟／NHN／防災士研修センター

主催者：日本損害保険協会は、「ぼうさい探検隊」の実施に関する各種連絡・発送にのみ利用し、それ以外の第三者に譲り渡すことはありません。(2025.2.6更新)



沖縄県損害保険代協 企画環境委員長 岸本学

九州南ブロックの企画環境委員会による会議が令和7年7月1日に行われました。

「大きなテーマ」は代理店評価制度に対してどのように対応してゆくです？

先を見越して、的を絞りつつ課題を挙げてきた。その結果、代理店が実践していかなければならぬ課題もハッキリしてきた。

- ① ⇒ JSA-S1003
- ② ⇒ ジギョケイの重要性の理解と推進
- ③ ⇒ 社労士認定制度の重要性の理解と推進

・特に代理店の課題として必要なのが体制整備であることから

- ① ⇒ JSA-S1003を優先すべきとの結論になった。

なぜなら2026年度の手数料体系は量から質へと大きく転換されて行く予定である。またISOに比べてJSA-S1003は保険代理店に特化された保険代理店の認定制度でありコストの負担の少ない制度の一つです(費用は25万前後のこと)。

今まで売上規模が大きい兼業代理店が優遇され、質の高い専業保険代理店や専属プロ代理手は規模が小さいことを理由に手数料での評価を得ることができなかった。今からは代理店の質で価値が問われる時代となる。

それならばと、顧客本位の業務運営なら、大丈夫だと考える専業やプロ代理店が多い。「私もそう考えていた」。

地域密着が大半の専業専属プロ代理店は、あくまでも病院で言ったら医院や診療所である、場合によっては、よろず屋的な相談窓口である。

地域密着代理店も大型の代理店と同じような基準でルール作りが行われても困るのでそこは注意が必要で、地域密着型の代理店に厳しい基準が必要か、実はほかに重要な優先事項はないのか。

お客様の家族単位・地域単位で地域での肌のぬくもりのある距離間で活躍する代理店の存続はお客様の希望でもあり顧客本意の一つである。

地域密着型代理店は10名以下がほとんどである、評価制度は真の顧客本意なのか各代理店も熟慮が必要である。

地域密着型のプロ専業専属代理店の役割は保険による問題解決だけが役割ではない、地域社会の人々の問題を適切な窓口へとバトンタッチする水先案内としての役割に対する評価だったりする。

チャンス到来ですが、代理店が肝に据えないといけないことは「保険業界の流れとして保険代理店は金融機関であり大小の規模に関係なくルールは同じ適用になる見通しが強いです」

しかも、すべての代理店にとって不透明な今の時期は、地域密着型代理店が競い合う時期ではないと考ます。

当分の間は代理店同士が競争ではなく、一致団結し力を合わせて荒波を乗り越える時期です。

その後に代理店の生存権が守られた暁には、正々堂々と代理店同士が切磋琢磨して差別化かを図るべきです。

企画環境委員会では、重要な事項は多くありますが体制整備の早急な整備と重要性の観点から

①JSA-S1003の詳細を優先的に情報提供しセミナーを行うなど皆様のお力になれるよう計画していくたいと考えています。代理店が地域で活躍できるよう支援していかなければと思います。



九州南ブロック会議で代理店の未来を語る!!

2025年7月4日(金)九州南ブロック会議がオンラインで開催されました。

本年は会議参加者の負担軽減、ブロック協議会の経費削減の試みとしてオンラインでの開催となりました。

ZOOMでの会議でしたが、業界の動向、今後の代理店経営、代理店評価制度への対応、ハ方式の廃止による乗合代理店への影響など多岐にわたる課題を共有しました。

ブロック会議の内容は日本代協ホームページの書庫に保管されています、代協会員であればログインし閲覧できますので御社の情報収集のひとつとして活用ください。

これから鹿児島、沖縄、熊本での会議もあります、会議の度に議事録が作成されますので会議に参加できない方も会議の議事録を活用いただけますと幸いです。

者は事務局まで問い合わせ下さい。



沖縄県竹原の育成実験

日本新聞社

TEL 06-6225-0559

FAX 06-6225-0551

杰一ホームページ <http://www.shinnihon-jps.co.jp/>

新日本保険新聞を1か月間無料購読してみませんか

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃弊社発行の弊紙・図書をご購
読いただいている皆さまには重ねて感謝お申申し上げます。

さて、弊社では営業の第一線の皆様向けに紙面を編集しており、多くの代理店様が情報収集としてご活用くださっています。つきましては皆様に1か月間のみのご送付ではあります、新聞の無料提供をここにご案内させていただきます。

もちろん定期誌を希望される方も同時に受け付けております。この機会にぜひ、試読・購読いただきたく存じます。

ご希望の方は下記申込欄にご記入の上、新日本保険新聞社宛てに本申込書をFAXいただければ
幸甚です。

なお、本申込書が弊社に到着次第、1か月間（4回発行）送付させていただきます。

皆様の事業の益々のご発展をお祈り申し上げております。

错白

新日本保険新聞社 行 (FAX 06-6225-0551)

(担当・総務部 後藤)

購読方法 (右側空欄に○印 をご記入ください)	①無料購読 (送付は1か月間のみです)	生保版
		損保版
②無料購読後に定期購読 (生保版・損保版とも それぞれ月払 1,870 円(定価 2,420 円)、年一括払 19,800 円です) ※購読料のお支払いは弊社から請求書と振替用紙をご送付させてい ただきます(月払いは2か月に一度、年払は前払いで1か月分割引)。	生保版	
	損保版	

貴代理店名		お名前	
ご送付先 住所	〒 -		
	TEL	FAX	

なお、お客様から、解約のお申し出がない限りは自動的に継続させていただきます。

公式LINEを活用しましょう

沖縄県代協の公式LINEを始めました。
このアカウントでは最新情報を定期的に
配信していくきますのでどうぞお楽しみに。



公式LINE
友だち募集中！



次は中央の「活用できる代協ツール」をタップ



まずは上のQRコードを
読み込んで
オープンチャットに
参加しよう！



次は「カードタイプメッセージ」が表示されますので必要なカードをタップしご活用ください!

日本代協アカデミー

2023年度
新規利用会員募集中

ネットチャンネル

「日本代協アカデミー（ネットチャンネル）」は、受講者の学習状況を簡便に管理できるeラーニング形式の学習コンテンツと、事業経営に役立つ様々な情報を配信する日本代協会員専用のサービスです。

サービスを
利用するには？

- ご利用にあたっては、各都道府県代協の正会員になります。各都道府県代協にメールアドレスを登録する必要があります。
- ポータルサイトからお申込みいただけます。受付後、運営会社から、ご登録いただいたメールアドレス宛に、ご利用料金の「案内をお送りいたします。
- ご金産確認後、メールアドレス宛に、コンテンツを利用開始するための「管理者ID」と「パスワード」を送信します。

<https://nd-academy.net/>

ポータルサイトからお申込み

ご利用開始

次年度更新手続会
(2024年3月1日～3月31日)

次年度(2024年4月1日～)

利用料金
お支払い手続き

初年度利用期間
2023年4月1日～2024年3月31日

次年度利用期間

初年度利用料金（税込価格） * 2023年4月1日～2024年3月31日の1年間

料金適用日	4月～6月 A(全期間分100%)	7月～9月 Aの75%料金	10月～12月 Aの50%料金	1月～3月 Aの25%料金
1人	6,000円	4,500円	3,000円	1,500円
2～9人	12,000円	9,000円	6,000円	3,000円
10～19人	25,000円	18,750円	12,500円	6,250円
20～29人	38,000円	28,500円	19,000円	9,500円
30～49人	55,000円	41,250円	27,500円	13,750円
50～99人	65,000円	48,750円	32,500円	16,250円
100～149人	93,000円	69,750円	46,500円	23,250円
150～199人	120,000円	90,000円	60,000円	30,000円
200～299人	170,000円	127,500円	85,000円	42,500円
300～499人	200,000円	150,000円	100,000円	50,000円
500～699人	250,000円	187,500円	125,000円	62,500円
700～899人	300,000円	225,000円	150,000円	75,000円

①お支払いいただく料金は、管理者ID発行日～2024年3月31日までの1年間分です。

②期間途中でご利用人数が変更があった場合は追加・削除は自由にでき、期間中の料金は変わりません。

③毎年3月1日更新なし、次年度(2024年4月1日～2025年3月31日)の利用者数にてご利用料金を2024年3月末までにお支払いいただきます。

④期間途中でご利用を中止される場合は、ご返金はありませんので、あらかじめご了承ください。

⑤3ヶ月からは、次年度分の申込を受付します。(次年度： 翌年4月1日～翌年・3月末)

*毎年4月に教材の入れ替えを行います。